

12月3日～9日は障がい者週間

# みんなが暮らしやすいまちへ

障がい者週間は、障がい者福祉について関心や理解を深めるとともに、障がいのある人が社会活動へ積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。

今回は、近江八幡市で活動されている障がいのある人やご家族などで構成される5つの団体の声を通して、誰もが暮らしやすいまちにするため、一人一人ができることを考えます。

このページの問い合わせは障がい福祉課まで TEL (31)3711・FAX (31)3738・E 010837@city.omihachiman.lg.jp

## 近江八幡市身体障害者厚生会

戦後、傷病兵たちの助け合いをもとに発足したといわれ、今年で70周年を迎えました。現在会員は186人で、肢体不自由や視覚障がい、聴覚障がい、内部障がいなどさまざまな障がいがある人が研修会やスポーツ大会、創作サークル、文化教室の活動を行っています。研修旅行にも出かけますが、みんなで楽しく活動していますが、会員の高齢化が進んでいます。若い人にも入会してもらい、さらに幅広い活動ができるようになればいいと思います。



身体障害者厚生会の皆さん

設立70周年を迎えました

## 市民の皆さんへ

お互いに理解しあい、励ましあうことにより助け合いの精神が生まれていけばよいと思います。一緒に活動してくださる人を募集しています。

## 近江八幡市視覚障害者福祉協会

自助、互助、賛助の考えを大切にしています。点字教室、歩行訓練、卓球（サウンドテーブルテニス）、老人施設（マッサージ奉仕などの活動）をしています。

金曜の午前9時～正午にひまわり館で「目が見えにくい、見えない人の相談会」を行っています（今月は25日）。目が見えにくいことでお悩みの皆さん、気軽に相談ください。



歩行訓練

～活動に参加してみませんか？～

活動に興味がある皆さんや入会を希望される皆さんは、障がい福祉課へお気軽に問い合わせください。

## 近江八幡市聴覚障害者福祉協会

3年前に県内市町に先駆けて「みんなの心で手をつなぐ手話言語条例」ができてから、出前講座の依頼が増えうれしく思っています。これからも手話の普及をしていきたいと思えます。難聴者や中途失聴者など比較的発語が明瞭な聴覚障がい者は、聞こえていると誤解されることも多くあります。1対1の会話は理解できても、複数になると難しいです。



聴覚障害者福祉協会の皆さん

## 市民の皆さんへ

聴覚障がい者は見ただけでは聞こえないことがわかりません。声を掛けているのに反応がないと

無視していると思われることもありま す。私たちは口の動きも読み取るので、 ゆっくり、はっきりと話してもらえると助かります。

気があることかもしれませんが、私たちはドアを開けてお待ちしています。同会の問い合わせ

omisanpoukai@gmail.com

## 近江八幡市手をつなぐ育成会

知的障がいと発達障がいのある人と、その家族や支援者の人などが一緒に事業を行っています。同じような思いを持つ親や本人同士の間を繋ぎたいと考えています。また、事業を通じて、子どもやその子が大人になった時に、家や学校、仕事場以外にも本人が安心して過ごせる居場所が作れたらと思います。さらに地域の理解が進むよう、3年前から障がい児者保護者連絡協議会を始めました。保護者団体や地域の皆さんと一緒に知的障がいや発達障がいに対する理解を深めることを目的とした、啓発キャラバン隊「花bee」

の活動も行っていきます。《市民の皆さんへ》地域に理解者が増えることで、みんなが居心地の良い社会になったらいいと思います。障がいのある人のことを知ってもらい、地域の一人として優しく見守ってもらえたらいいです。



手をつなぐフェスタ

市民の皆さんへ 現在も新型コロナの影響でつらい思いをしている人や、お家にこもっている人がいると思います。「一歩」を踏み出すのは大変な勇



茶話会

## ふくふくフェスタおうみはちまんを開催します

障がい者週間に合わせて、障がいに対する理解を深めることや、障がいの有無に関わらずあらゆる分野で活動される方々の交流の場となることを目的として開催します。

日時：12月19日(土) 午後1時～  
場所：市文化会館小ホール 参加無料

内容：歌やダンス、聴導犬の紹介、作品展示など。詳しくは市ホームページをご覧ください。障がい福祉課にもチラシがあります。

申込方法：氏名・住所・連絡先を明記の上、電話・ファクス、またはEメールのいずれかで申し込んでください。

※原則、事前申込制ですが当日参加も可能です。

16564